

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無		
スポーツ科学部	講師	村上雷多				
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
授業評価の導入		平成26年4月～	授業評価を導入することで、学生の意見を反映することができ、それに基づいて授業の改善に取り組んでいる。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
明治150周年剣道歴史検定		平成30年11月	『剣道時代』の特別企画として、剣道歴史検定の出題者として、問題作成を行った。			
アクティブ新中学校体育実技		令和4年11月	剣道の項目について改訂を行った。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
大阪府剣道道場連盟主催剣道講習会		平成29年10月～	年に1回、大阪府の中学生以下を対象とした講習会を実施している。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含まない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
剣道指導者研修会参加教員の意識調査～感想文の言語分析を用いた剣道授業のあり方～	◎松本一記・山口幸一・村上雷多・神崎浩	武道学研究	第47巻	82頁	平成26年9月	
『古事記』にみられる武道関係用語に関する一考察	◎大石純子・酒井利信・原口理恵子・軽米克尊・村上雷多	身体運動文化研究	第20巻	45頁～64頁	平成27年4月	
近世剣術における精神性に関する一考察	村上雷多	身体運動文化研究	第21巻	13頁～36頁	平成29年12月	
メカニカルストレスが踵骨骨密度に与える効果の再検証	◎河上俊和・神崎浩・村上雷多・滝瀬定文	スポーツ整復療法学研究	第20巻	78頁	平成30年10月	
男子大学剣道選手の認知機能における特徴について：競技レベルとP300の関係に着目して	◎川井良介・香田郡秀・鍋山隆弘・有田祐二・村上雷多・渡邊孝士郎・大野達哉	身体運動文化研究	第24巻	11頁～19頁	平成31年3月	
武道ツーリズムの発展に向けた基礎的研究－外国人の日本文化と武道への興味およびツーリズム動機に着目して－	◎中山健・村上雷多・神崎浩・天川彰子・大石洋史・石井健太郎・八木原綾音・池田篤史・藤本淳也	大阪体育大学紀要	第54巻	1頁～15頁	令和4年12月	
外国人を対象とした「武道ツーリズム」コンテンツの開発と評価－退学、地域、企業による共有価値創出 (CSV) の試み－	◎藤本淳也・村上雷多・大石洋史・神崎浩・天川彰子・浅田暁・横井光治・瀧勇紀・森田卓・中山健・土屋裕睦	大阪体育大学紀要	第54巻	17頁～28頁	令和4年12月	
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
				〇〇頁～〇〇頁	平成〇年〇月	
				〇〇頁～〇〇頁	令和〇年〇月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
症例報告	特色あるプロジェクト「競技力向上を目指したスポーツ実践とスポーツ医・科学の融合」に関する活動報告	共 ◎成相美紀・村上雷多・(他21名)	大阪体育大学紀要	第46巻	143頁～157頁	平成27年3月
症例報告	ロシア・サンクトペテルブルク剣道交流 報告書	単 村上雷多・酒井利信	大阪体育大学紀要	第47巻	167頁から172頁	平成27年12月

研究/ト	コロナ禍による部活動環境の変化が0大学運動部学生に与えた影響に関する実態調査	共	◎神田智浩・山下純平・村上雷多・下川真良	身体運動文化研究	第27巻	41頁～50頁	令和4年3月
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）							
区分	年月	学会名		演題名	場所	発表者名	
選択	平成〇年〇月						
選択	令和〇年〇月						
科学研究費等の取得状況							
科学研究費/その他の助成金/外部資金							
区分	種類	題目		代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
選択				選択			
選択				選択			
特許							
特許名称		発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
							例：日本
Ⅲ 加入学会および社会における活動							
期 間		内 容					
加入学会							
平成25年6月～		日本武道学会会員					
平成25年9月～		身体運動文化学会会員					
平成27年2月～		日本コーチング学会会員					
平成28年8月～		日本体育学会会員					
平成28年10月～		身体運動文化学会常任理事					
社会的活動							
令和3年4月～		全日本剣道連盟アスリート委員会					
Ⅳ 管理活動							
期 間		内 容					
委員会活動							
平成31年4月～令和3年3月		研究委員会					
令和4年4月～令和5年3月		FD委員会					
令和5年4月～		競技力向上委員会					
令和5年4月～		キャリア委員会					
特別プロジェクト活動							
Ⅴ クラブ活動の指導業績							
1. 指導クラブ名	剣道 部		2. 役職	2013～男子監督		3. 部員数	85 人
4. 現場指導の頻度	① ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない						
5. 合宿指導	年間合宿回数： 2 回		延べ日数： 14 日				
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない						
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない						
8. 部員の就職指導への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない						
		大 会 名		期 間	場 所		
		大阪学生剣道選手権大会		4月	桃山学院大学		
		関西学生剣道選手権大会		4月	舞洲アリーナ		
		西日本学生剣道大会		5月	久留米アリーナ		
		大阪学生剣道新人大会		6月	大阪府立臨海スポーツセンター		
		全日本学生剣道選手権大会		7月	武蔵の森総合スポーツプラザ		

9. 年間の引率公式大会名	大阪学生剣道優勝大会	8月	金岡公園体育館
	関西学生剣道優勝大会	9月	エディオンアリーナ
	全日本学生剣道優勝大会	10月	Asueアリーナ
	全日本女子学生剣道優勝大会	11月	春日井市総合体育館
	若木杯剣道大会	11月	舞洲アリーナ
	全日本学生剣道オープン大会	12月	東北

10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)

開催期間	大会名	成績	場所
令和元年	第67回関西学生剣道優勝大会	優勝	舞洲アリーナ
令和三年	第68回関西学生剣道優勝大会	優勝	東和薬品RACTABドーム
令和四年	第70回関西学生剣道選手権大会	優勝	舞洲アリーナ
令和四年	第69回関西学生剣道優勝大会	準優勝	東和薬品RACTABドーム
令和五年	第70回関西学生剣道優勝大会	第3位	エディオンアリーナ
令和六年	第72回関西学生剣道選手権大会	優勝	舞洲アリーナ

VI 賞罰 (職務に関する賞罰)

年月	受賞等機関名	内容	備考
平成28年10月	身体運動文化学会	平成28年度身体運動文化研究優秀論文賞	